

編集後記

今号は志保田先生追悼記念号です。前川先生による研究ノートが掲載されているとともに、大城先生には偲ぶ会の様子を報告していただいています。ただ、志保田先生に関する原稿はこれで最後ではなく、今後も掲載していければと考えています。

前号は岡田が編集委員長代行を務めました。その後、ありがたくも岡田が編集委員長を務めるべきという意向も頂いたのですが、私は国際誌の編集委員長としては力不足である自覚はあります。しばらくは編集委員長を置かず、岡田が編集委員長代行を継続することで進めていければと考えています。

「国際図書館情報学会日本支部 規約」「機関誌の運用細則」「査読内規」が新しくなっています。主には、特別会員や顧問の新設と研究ノートの査読をなくしたことによるものです。

皆様には正式にお諮りできていないのですが、I-LISS Japan の公式 web ページを移設しました。URL は <https://i-liss.jp> です。今までの *Journal of I-LISS Japan* を掲載するだけでなく、様々な情報発信ができればと思っています。

I-LISS Japan から新刊として『日米学校図書館の研究』が発行されました。大城善盛先生・村上幸二先生の編著です。基本的には *Journal of I-LISS Japan* や『図書館界』などに掲載された論文をまとめたものですが、私のエッセイは書き下ろしです。奥付上の広告をご覧ください。

台北で学会に参加して、午後ちょっと時間が空いたときの話です。志保田先生から、お祖父様が戦前に台北の師範学校の校長をなさっていたこと、お祖父様の銅像と石像があったが、銅像は戦中に鋳潰され、石像も戦後壊されてしまったこと、師範学校の跡地に行っても得られるものはないと思うが何か痕跡があるかもしれない、といったことを伺いました。ということで、早速2人でその師範学校を引き継ぐ大学に行き、自校史資料室のようなところを見つけました。ただ、夏休み中の土曜日だったかで開いてはいませんでした。

帰りのタクシーの中で、志保田先生は、祖父が働いていたところに行けただけでも良かったとおっしゃいます。私も成果がなかったことはそれほど気にならなかったのですが、つつい冗談で「じゃあ私は志保田先生の像を3Dプリンターで作りますよ」と申しました。志保田先生はいらないとおっしゃいましたが、作ることを禁止はなさりませんでした。

ただ、本気で作るのなら、志保田先生のお顔を3Dスキャナーか何かで撮らないといけません。もちろんそれはしていません。今となっては、撮っておけばよかったという思いや、写真をいっぱい集めれば、今からでもAIで3Dモデルを再現できるのでは、とかいろいろ考えます。

(編集委員長代行 岡田大輔)